

# 船員になるための知識と技術を学ぶ国立高等専門学校(商船学科)

5月28日(土)、朝中読者リポーターの田島 美咲さん(名古屋金城学院中2年)が三重県鳥羽市にある国立鳥羽商船高等専門学校(以下:鳥羽商船)を訪ね、練習船「鳥羽丸」への乗船や、実習工場でのエンジンの始動作業などの体験取材を行いました。



練習船「鳥羽丸」で船の扱いの説明を受ける田島さん

「舵を切ってみませんか?」と、加藤くんが促すと、少し緊張した様子で舵を握る田島さん。「船は車とは異なり、舵を切つて曲がりますまでに時間がかかるの

です」と、船を走らせるための重要な作業についても教えてもらいました。

田島さんが最初に案内されたのは、練習船「鳥羽丸」。全長40mの大きさに驚きながら乗船すると、向かった先はブリッジと呼ばれる操舵室でした。普段、目にするのではない機器や設備を田島さんが興味深く観察していると、案内役の1人、商船学科航海コース5年の加藤奨大くんが使用目的や使用方法を分かりやすく説明してくれました。

「これはジャイロコンパスといって、自船の位置を把握するために欠かせないものです。ジャイロコンパスで確認した内容は、海図に書き込むことになっています」と、船を走らせるための重要な作業についても教えてもらいました。

エンジンの始動方法に興味を持った田島さんから「どこで空

気は電気で動かすのか」と、エンジンがどのように動くのかについて説明してくれました。

「エンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで



エンジン停止後のピストン調整作業

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

あいにくの雨でしたが、鳥羽丸、学校の施設などを紹介していただきとても勉強になりました。最初に見学した鳥羽丸はとて大きく機械がたくさんありました。船が大きいわりにはハンドルが小さくてびっくりしました。ハンドルの周辺にある機械を使って

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

ました。田島さんはエンジンが動く仕組みを学んだ後、実際にエンジンの始動作業に挑戦。バルブを開き、コンプレッサーからエンジンへ空気を送り込むと、エンジンが動き始めました。エンジン停止後に行うピストン位置の調整にも挑戦し、作業の中で教わった注意点をノートに書き込んで

## 中学生の皆さん、君の夢を船に!

### 国立高等専門学校(商船学科) 5校合同進学ガイダンスを開催します。

めざせ! 船長・機関長。先生や卒業生から船の仕事や将来性、入試案内や学校生活など貴重な楽しい話を聞くことができる進学ガイダンスを好評のため今年度も全国3ヶ所で開催します。参加費無料ですので中学校の先生、保護者の方、中学生の皆さん、ぜひこの機会にご参加ください。

**参加無料**

開催地	日時	場所
横浜	2011年7月16日(土) 13:00~17:00	日本丸訓練センター(横浜市西区みなとみらい2-1-1)
博多	2011年7月18日(月) 13:00~17:00	エルガーホール(福岡市中央区天神1-4-2)
神戸	2011年7月30日(土) 13:00~17:00	神戸国際会館(神戸市中央区御幸通8-1-6)

**募集人員** それぞれ先着約100名

**ガイダンスプログラム(予定)**

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会 主催者挨拶、オリエンテーション
- 13:40 DVD「海の上のプロフェッショナル」上映
- 14:00 総合説明
- 14:40 休憩(20分程度)
- 15:00 卒業生からのメッセージ(航海士及び機関士の2名)
- 15:40 各校ブースでの個別説明会
- 17:00 閉会

**国立高専(商船学科)5校進学ガイダンス申し込み方法**

**記入事項** 「2011年高専進学ガイダンス参加希望」と明記 ①希望場所(横浜・博多・神戸) ②参加人数 ③上記②全員の氏名(フリガナ)・性別・年齢若しくは学年 ④入場券送付先(氏名、〒・住所/電話番号)をご記入の上、以下宛先にメール・FAX・ハガキのいずれかにてお申し込み下さい。

**送付先** メール guidance@jsanet.or.jp Fax 03-5226-9166  
ハガキ 〒102-8603 東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル 日本船主協会「合同進学ガイダンス係」  
●申し込みされた方には順次、入場券を送付致します。

お問い合わせ先 日本船主協会 担当:中村(なかむら)・満山(みつやま) Tel 03-3264-7178  
※お申し込みに関する情報は、進学情報、海運広報に限りのみ利用させていただきます。

主催:社団法人日本船主協会 <http://www.jsanet.or.jp> 共催:独立行政法人国立高等専門学校機構 富山高等専門学校 鳥羽商船高等専門学校 広島商船高等専門学校 大島商船高等専門学校 弓削商船高等専門学校  
後援:富山県教育委員会 三重県教育委員会 広島県教育委員会 山口県教育委員会 愛媛県教育委員会 神奈川県教育委員会 福岡県教育委員会 兵庫県教育委員会 (社)全日本船舶職員協会 文部科学省 国土交通省